



(投稿者)

畝 一雄  
宇都宮義文  
阿部真也  
小林美希  
木村悦雄・正子  
和田孝明・幸子  
永津照見  
中柴雅彦  
田村和司  
野原 宏  
福井 豊  
平園賢一  
堀 良慶  
小山美枝  
中村 徹  
水口英男  
太田貞雄  
上村真澄

(順不同・敬称略)

あーと・わの会 ( 通称 「わの会」 )

## 59回放談会(ネット上)

日時 2020年 10月吉日

インターネット投稿

参加者 (計20名)

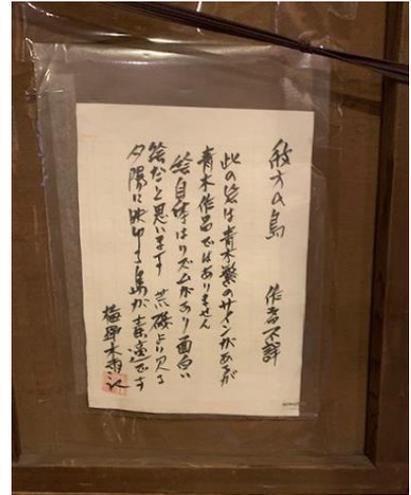


59回放談会－ネット誌上－(順不同)

出品者 阿部真也さん・小林美希さん



作家名 不明  
 作品名 「彼方の島」  
 材料・技法 キャンバスに油彩  
 制作年 不詳  
 サイズ 53×72.8cm(20号)



コメント あるオークションで10年以上前に入手しました。梅野隆先生から「彼方の島」という素敵な名前とコメントをいただきました。良い絵だと思つのでどなたが描かれたのかなといつも思つてます。万一、サインがある青木繁だったらと未練もありますが！

出品者 宇都宮義文さん



作家名 不詳  
 作品名 「仮題「明月蔵鷺。(明月に鷺を蔵す、と読む)岩波、禅林句集ヨリ題名拝借。」  
 (因みに鳥わ コサギ)」  
 材料・技法 絹地。蠟けつ染  
 制作年 1930年前後と聞き及ぶ。  
 サイズ 屏風木枠、153×152cm  
 作品、134×134cm

コメント 長年実家の乾燥した部屋におかれて屏風の接合部、裏面の破損大だが作品わ色落ち程度。作風わ狩野永徳の障壁画風で豪壮で禅味があるが作家名が不祥で残念。受け取つた我が家わ手狭な為、修復し私の枕元に置こうかとおもうが、遺体安置所みたいで如何なものか？。余談。誌上放談会の大発展熱烈期待だが、ご担当の実務工数不足化懸念大。

出品者 畝 一雄さん

作家名	加藤肇司
作品名	「家」
材料・技法	厚紙・ミクストメディア
制作年	不明
購入年	2011年
サイズ	29cmX29cm



コメント 3、11の後に制作したと本人から聞く。この作品を購入したい人がいたが、黒色の横線が嫌だとのことで私が巡り合いました。何かしら禅的雰囲気のある世界と思っています。(わたしには禅とは何たるか、まるっきり知りませんが)

作家略歴 加藤肇司 (かとう・けいじ/1947～)1970年制作・発表活動を始める。

出品者 木村悦雄・正子 さん

作家名	銘加州住盛平(もりひら)
作品名	加賀象嵌・銀真鍮象嵌唐獅子牡丹文 「鐙(あぶみ)」
材料・技法	鉄地に銀・真鍮の象嵌、漆
制作年	江戸18世紀
サイズ	幅13.2 x 奥 28.4 x 高 25.1 cm



一番手前です

コメント (寄贈の行方・石川県立美術館企画展での寄贈作品の展示) タイミング良く「石川県立美術館主催企画展「いしかわの工芸 歴史の厚み展(2020/9/12～10/18)」に、寄贈した(2018年)今回の「鐙」が出品された。「社会の中に百年単位で作家・作品の存在意義が継続するか?」、アートとして求められる立ち位置の追及。その「証」成立のプロセスにコレクターの立場でコミット出来る行為がコレクション作品の「寄贈」。コレクターの存在意義をそこに置き、50点を目標に寄贈活動を続けている。美術館での寄贈作品の展示は、40年続いている「コレクターの役割とは?」との自問自答に対する我々への当面の回答、但し百年後まで続いているかは確認不能。「一隻眼の目」を信じるしかない。



作家略歴 加賀象嵌には多様な系譜があり「銘加州住盛平(もりひら)」の詳細は不明同銘作の「鐙」が石川県立美術館の既所蔵品に一点ある。今回の他の展示品には「加州住勝國」「加州住氏賢」「金沢住永次」「金沢住氏政」の銘がある。

出品者 和田孝明・幸子さん

作家名	風間完
作品名	「聚楽」
材料・技法	油彩・キャンバス
制作年	不詳
サイズ	60.6×50.0cm

コメント 風間完は、洋画家であり挿絵画家でもある。鉛筆やパステルを使用した叙情的な風景画や、情感豊かな女性像によって人気を得ていた。また数々の新聞・雑誌の小説挿絵を手がけた。「聚楽」は、建築物が炎上している絵である。「聚楽第」を描いたものと思われる。裏面に作品名、サインと兜屋画廊シールが貼られている。



作家略歴 風間 完 (かざま・かん/1919～2003年)

東京生れ。1939年東京高等工芸学校卒。43年新制作展に入選。49年同展で新作家賞。

54年同展後に新制作派協会会員。猪熊弦一郎等に師事。

53年から小説、新聞の挿絵。57年から2年間パリに留学、グラン・ショミエール研究所に学ぶ。

64年講談社挿絵賞。67年再渡仏、銅版画を制作。2002年長年にわたる文学作品の挿絵制作に対して菊池寛賞。東京で没、84歳。

出品者 永津照見さん



作家名	モーリス パステルナーク Maurice Pasternak
作品名	『chute 1 (落下 1)』
材料・技法	メゾチント
制作年	2000年
サイズ	75.5×49cm



コメント ベルギー留学時の恩師の作品です。画集のトップページに掲載されている彼の代表作。人間社会の奥に潜む情念、渦巻くエネルギーをドラマチックに表現し、追求した社会派の作品であると感じます。大きさ、クオリティからメゾチントで制作された版画としては世界最高クラスの作品であると思っています。

作家略歴 Maurice Pasternak(モーリス パステルナーク/1946～)

ブリュッセル生まれ。ベルギー、ラカンブル国立視覚芸術高等学校デッサン科、版画科教授。

メゾチント、パステル、デッサン等による作品を制作。国際的な展覧会、個展多数。

出品者 中柴雅彦さん



作家名	原 精一
作品名	モンテック小景
材料・技法	キャンバス・油絵
制作年	不詳
サイズ	SM(22.7×15.8cm)

コメント 裸婦で有名な原精一の作品を山口県内の古道具店で見つけた。原は宇部市とゆかりがあることを最近知った。額が初で傷みがあったため、同市の画材店でこの額に入れ替えた。この額も、もう何十年在庫であるそうで特価で譲ってもらった。その際、原が宇部に来ていたそう。絵が額に負けてしまうかな、と一瞬思ったが否、全く負けておらず、むしろこのコロナ禍にあって描かれているのは聖堂であろうか、荘厳さが増したのを感じている。

作家略歴 原 精一（はら・せいいち/1908～1986年）

神奈川県生れ。1923年萬鉄五郎に師事。川端画学校に学ぶ。24年円鳥会展入選。25年春陽会展入選。36年春陽会賞。41年従軍画家。岡田賞、春陽会会員。47年読売美賞。48年国画会会員。57～58年渡欧。75年女子美術大学教授。82年神奈川県立近代美術館回顧展。東京で没、78歳。

出品者 田村和司さん

作家名	中田一男
作品名	住吉人形 種貸さん
材料・技法	木版画
制作年	1937年
サイズ	8.0×5.5cm

コメント 少数のパトロンに支えられエクスリブリスを主に作り続けたが、貧困の中、夭折した。作家の心がそうであったのだと思うが、その作品の純粋な美しさが心に沁みいる。5点からなる木版画集、「郷土玩具 住吉人形」の中の1点である。豊穰を込めて作られた人形達を澄んだ心で彫りだしている。



作家略歴 中田一男（なかた・かずお/1907～1938年）

大阪生まれ  
1930年 抒情社を興し月刊誌「エクスリブリス」創刊  
1931年 創作版画グループ「羊土社」に参加  
1938年 2月病没 享年31歳

出品者 野原 宏さん

作家名 オノサトシノブ  
作品名 「一つの丸」  
材料・技法 水彩  
制作年 1961年  
サイズ 19×28cm

コメント オノサトシノブの丸シリーズの中の一つの丸です。油彩の丸もありますが私は水彩が好きです。透明水彩絵具の特性をうまく使い、油彩よりも繊細な表情に魅了されます。



作家略歴 オノサト・トシノブ（おのさと・としのぶ/1912～1986年）長野県飯田市生れ。現代美術作家。1931年津田青楓画塾に学ぶ。37年自由美術家協会結成、会友として参加。63年日本国際美術展で最優秀賞。64, 66年ベニス・ビエンナーレに日本代表として出品。戦前戦後を通じ前衛美術の道を歩んだ。桐生市で没、74歳。

出品者 福井 豊さん



作家名 画・石川寅治（1875～1964）  
刻・山岸主計（1891～1984）  
摺・松崎啓三郎（1937～）  
作品名 「琉球の市場」  
（同題の軸装紙本着彩原画個人蔵を部分写）  
材料・技法 多色摺り木版・紙  
制作年 画1921年頃、刻1934年頃、  
摺1960年以降と推定  
サイズ 38×48cm（紙寸）

コメント 1911～12年、画家が中川八郎、吉田博と琉球を写生旅行中の題材だろう。2013年、当会第9回コレクション展に安和朝忠氏出品の同図同版摺は漆原榮次郎（由次郎＝木虫の兄）の初摺で刻と同時期1934年頃と推定される。用紙版外左に題名、刻摺両者氏名が記載、その下地は石川寅治の縦書き名透かしが入っている。

作家略歴

石川寅治 1875高知県生れ1891小山正太郎に師事1902太平洋画会創立会員1902～04渡米欧  
1918東京高等師範講師1943太平洋美術学校長1947示現会を設立1953芸術院恩賜賞  
1958日展監事1964東京で没89歳

山岸主計 1891長野県生れ1906上京1916独立、葵橋洋画研究所に学ぶ1926～29米欧各地木版  
画指導1931日本版画協会会員1984伊那市で没92歳

松崎啓三郎 1937千葉県生れ1952木版摺りを高木省治に師事1957独立1988荒川区登録無形文化  
財2011同区指定無形文化財2014瑞宝単光章

## 出品者 平園賢一さん

コメント 8月にO氏から思い切って購入し、来歴の調査を始めた。この作品は洲之内コレクション展(1979年松山と宮城、香川と宮城)に出品されていたことが分かった。図録には洲之内さんがこうコメントしていた・・・「15、6年前、銀座のある画廊で新人画会の再現展があったときの出品作である。鬨光と通じるものがある」と。ちなみに新人画会再現展とは1962年五番館画廊(山岸信郎)で開催された旧新人画会展のことである。この時代の代表作といえる名品である。後藤洋明さんは洲之内コレクションであった「赤い実」の再発見を喜んで下さり、辛口の土方明司さんも絶賛してくれた。出品目録が不明である第2回と3回の新人画会展の出品作である可能性もあり今後の調査が待たれる。

作家名	寺田政明
作品名	「赤い実」
材料・技法	油彩
制作年	不明
サイズ	15.8×22.7cm

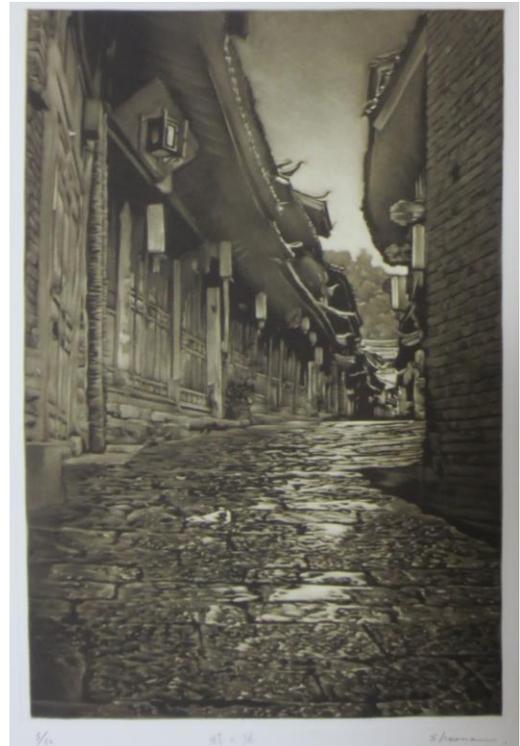


作家略歴 寺田政明 (てらだ・まさあき/ 1912～1989年) 八幡市生れ。太平洋美術学校で学ぶ独立展、NOVA展に出品。1936年エコール・ド・東京結成。37年独立展で協会賞。39～49年美術文化協会結成。43年新人画会結成。50～64年自由美術家協会会員。64年主体美術協会結成。東京で没、77歳。

## 出品者 堀 良慶 さん

作家名	庄 漫
作品名	「時の跡」
材料・技法	メゾチント
制作年	2009年
サイズ	35.5×24.0cm

コメント 小さな頃父の写真が記憶に残る風景、何時か行って見たかった、念願叶って蘇州を訪れました。蘇州は東洋のベニスと称えられるほどの、風光明媚な運河の街です。ザクロの真っ赤な花が咲いている季節です。ザクロの緑の葉の中に真っ赤な花を紅一点と言われていませす。タイサンボクの真っ白な花が私を迎えてくれました。きっと父もここに来たのでしょう。



作家略歴 庄 漫 (しょう・まん/1972年～) 上海生れ。1995年上海第二医科大学口腔医学部卒。2000年来日。06年文化女子大学造形学部生活造形学科卒。鹿取武司の指導、メゾチントに出会う。2009年には第9回PREMIO ACQUI国際版画ビエンナーレグランプリ受賞(イタリア)米国ワシントン国会図書館、黒龍江省美術館、台湾美術館に收藏。

出品者 小山美枝さん



作家名	國田 敦子
作品名	題名不詳 (ノルウェー)
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	不詳
サイズ	24 × 32cm

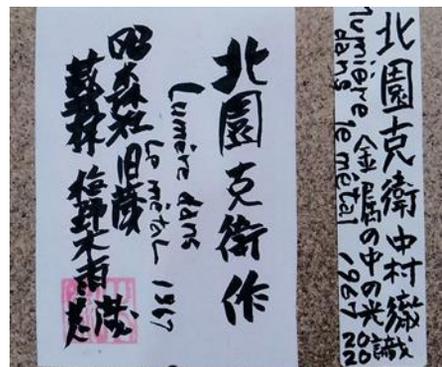
コメント 國田敦子がノルウェーに長期滞在した頃の作品です。中柴氏によると、絵の中に描かれた人物は國田本人だそうです。もしかしたらノルウェーに着いたところで、ワクワクしながら村に向かっていたのかも知れません。ノルウェー旅行については資料が見つかったので、会誌に掲載したいと思っています。お楽しみにしてください。

作家略歴 國田敦子（くにた・あつこ/1923～2003年）大阪生れ。1944年女子美術専門学校師範科西洋画部卒。田中一松に師事。45年中学校教師、米軍伊丹基地Pxで肖像画制作。58年米軍岩国基地で美術指導。自宅に絵画教室を開講。71、93年銀座・地球堂ギャラリー個展。82年山口県美展佳作賞。90、91年山口県創作文芸県知事賞。2003年没、80歳。08、09年岩国市、周南市で回顧展。

出品者 中村徹さん



作家名	北園 克衛
作品名	「Lumière dans le métal (金属の中で)」
材料・技法	紙 インク
制作年	1967年
サイズ	20 × 13.5cm

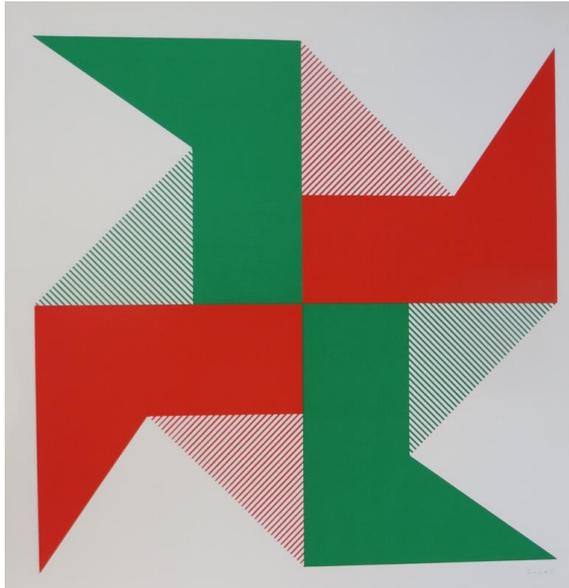


裏面

コメント 「ルメールダンス」という作品名で、梅野絵画館友の会オークションに出品された作品。梅野隆の蒐蔵、によれば、旧昭森社旧蔵。彫刻家橋本平八作品を探していたが、入手できず、平八の弟の作品にも関心を寄せる。北園の作品、資料は、ジョン・ソルト・コレクション、多摩美術大学図書館、千葉市美術館等にある。2010年三重県美・世田谷美術館で「異色の芸術家兄弟 橋本平八と北園克衛」展開催。

作家略歴 北園 克衛（きたその・かつえ/1902年～1978年）1902年三重県生まれ。本名は橋本健吉。詩人、画家。玉村善之助（方北斗）と親交。1926年単科三科が結成され、そのメンバーとなる。1932年に二科展に入選。1935年VOUクラブを結成し、機関誌『VOU』を創刊。同年兄橋本平八が亡くなる。1942年平八「純粋彫刻論」を編集・刊行。1950年二科会理論部会会員。戦後は、詩人だけではなく、写真の分野、装幀家としても活躍した。1978年没。

出品者 水口英男さん



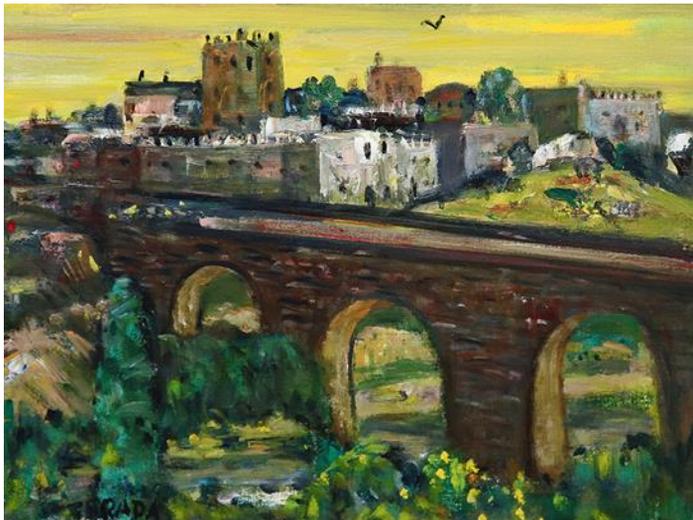
作家名	菅井 汲
作品名	「バリエーション」
材料・技法	シルクスクリーン
制作年	1974年
サイズ	60x60cm

コメント この作品に出会ったのは45年ほど前になります。赤と緑の2色で風車のような単純な作品です。この作品の鮮やかさ、完結した構成を感じ抽象作品の入門となり、目を見開かされたのです。その新鮮さに圧倒され抽象とはこういうことかと腑に落ちました。余計なことを考えずただ思うまま、感じたままに観ればいいのだと。

作家略歴 菅井 汲（すがい・くみ/1919～1996年）

神戸市生れ。1933年大阪美術学校に学ぶ。48年吉原治良に油絵を学ぶ。52年渡仏、パリに定住、パリのクラヴェン画廊と契約して、個展を開催。60年東京国際版画ビエンナーレ展に出品、東京国立近代美術館賞。40年サンパウロ・ビエンナーレで国際最優秀作家賞。66年クラウ国際版画展で大賞。65年芸術選奨文部科学大臣賞。69年京都国立近代美術館で個展。神戸市で没、77歳。

出品者 大田貞雄さん



作家名	寺田 竹雄
作品名	「スペイン、 古都トレドへの門」
材料・技法	キャンバス、油彩
制作年	不明
サイズ	F4 (24.2×33.3cm)

コメント 元の出品者はタイトルをヨーロッパの古城としていたが、スペインのトレドを旅行した時に、タホ川に架かる橋の袂、集合場所での景色が良く似てるので、このタイトルとした。

作家略歴 寺田竹雄（てらだ・たけお/1908～1993年）

福岡市生れ。1922年福岡県立中学修猷館を中退、渡米、31年カリフォルニア州美術専門学校を卒業。アートセンター美術協会会員、32年サンフランシスコ・アート・アソシエーション会員、33年ロスアンゼルス・アート・アソシエーション会員35年帰国。45年二科会員の理事。76年二科展で内閣総理大臣賞。79年、日本美術家連盟理事長。90年日本芸術院会員。東京で没、85歳。

出品者 上村真澄さん

作家名	加藤 礁
作品名	アベ・マリア
材料・技法	木像
制作年	2003年
サイズ	9x4cm

コメント オードリー・ヘップバーンのドキュメンタリーDVDを鑑賞した。コスチューム担当のジバンシー曰く「あなたが作ってくれたブラウスやスーツを着ると服が私を守ってくれるような気がする、とオードリーは感動的なことを言ってくれました」と目頭を熱くしてらした。家族以外の大きな愛の塊を「仲間」と言えたなら素敵。山形屋の画廊さんで求めた今回のマリア像は加藤礁(正)作。「加藤先生、私も、先生が守ってくれるような気がするわ」



作家略歴 加藤 正 (かとう・ただし/1926~2016年)

宮崎県生れ。1950年東京藝術大学油絵科卒。52年瑛九等とデモクラート美術協会設立。

機関誌「DEMOKRATO」編集発行。

73, 74年渡仏。2001年宮崎で「フラクタス」を結成。東京で没、90歳。

編集後記:コロナウイルス拡散防止のため放談会の集まりは引き続き中止といたしました。皆様に資料を送っていただき、このホームページ上での発表です。

時代はすでにオンライン化ですが、記録に残すことで、改めて心にとめて頂ければ幸いです(N)

発行 : あーと・わの会  
発行日 : 2020年10月吉日  
編集 : 実行委員 あーと・わの会 放談会チーム  
写真、編集、デザイン 井澤尚子  
連絡先 : 事務局 (堀 良慶) 〒277-0871 柏市若柴1-358  
TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp